

ピースと選挙

昨年末に実施された解散総選挙では戦後最低の投票率となりました。投票率を上げるためのアクションが様々に起こりました。若者の中からの動きも多数あり、私は友人が立ち上げたプロジェクトのひとつ「I vote for プロジェクト」に参加しました。何のために投票する？この問いかけに対する自分の思いを言葉にし、Facebook に投稿するというものです。

私は、「I VOTE FOR 自分を裏切らない」と記しました。この言葉は、ある友人との話がきっかけでした。友人は、いわゆる「在日2世」で、日本で生まれ育ち、自分の故郷は日本であり、日本政府や社会に翻弄されながらも「愛する故郷日本」を想っています。そして、今日において、この差別・排除の動きが加速していることを身に迫る危機として感じていることを話してくれました。目の前にいる人が、まさに不当に扱われていることを突き付けられたのです。「選挙に行こう！」と楽しみながら疑問も持たずにアクションできる立場の暴力性をあらためて知りました。街はちょうど、ルミナリエの開催時期。溢れる光に照らされていましたが、その光は、決して等しく降り注ぐものではないことを痛感しました。どんな状況になろうとも、仲間のため、自分のために自身の主張を貫けるのか。自分が大切だと思うことを大切にしながら、自分ができるだろうか。「I vote for 自分を裏切らない」は、そうした友人の言葉への私なりの応答でした。

今なお、この社会では排除と差別が存在しています。問題に関心があるとかないという以前に、議論に参加させてもらえない、という現実があります。この現実を胸においたとき、「民意とは何か」という問いが単純ではないことに気づきます。選挙は民意を表明するひとつの方法ではありますが、これがすべてではありません。また、十分なルールとも言えません。例えば日本は、国政選挙への立候補の供託金の高さで有名です。より民意を反映できる民主主義のあり方とは、いったいどのようなものか？そのためには、自分たちに何が必要なのかについて、もっと互いに意見を交わしてもいいだろうと思います。

森 恭子

(神戸 YMCA 常議員、国際委員)

「みんなで決めよう『原発』国民投票・関西」メンバー

また、民主主義を「多数決による総意」と限定的に捉えてしまえば、単なる勝敗争いの形式的制度という固定化されたものとなってしまいます。大事なことは、選ぶまでの議論の過程や相手の意見や新しい情報によって自身の意見が変化していく過程があること。自分自身も相手も、より自分の意志に素直に向き合い、意見を表明し相互の考えを調整できる環境や過程が確保されていること。議論に向けた取り組みが民主主義の大切な点だと思います。様々な立場の意見を表出させるためには、意見を交換できる場やそのための多様な方法が必要となります。例えば、議論は言葉に偏りがちですが、言葉のみによらない方法を考えることで、子どもなどのように、議論という手法に馴染まない人たちの意見に意識を向けたり、より異なる意見に触れたりすることができるかもしれません。

創造的に民主主義を体現していくためには、一人ひとりの日常の小さな民主的体験が、民主主義へのイメージを豊かにし、想像する力を育むのではないかと思います。等しく光に照らされる社会をめざして。

ある投票所の1日

投票所は町内の会館に設けられ、投票者は投票開始早々に数人、列ができたほど多かったのは昼前と夕方頃の2回、他の時間帯は混雑しない程度の人の出入り、また誰も来ない時もあったりした。

若い人たちが少なく、投票率が前回よりは少し低い投票日の1日だった。

(神戸YWCA 会員・投票立会人)



レッドマリア

上映とワークショップ

次世代プロジェクトでは、「女性であること」について、ジェンダーからくる抑圧、性暴力等について話し合い、集まりを持ってきた。今回、縁あって女性が「働く」ことについて共に考えるための、映画上演とワークショップを開催することになった。

映画「レッドマリア」では、韓国・日本・フィリピンで働く様々な女性が登場し、自分の考えや生き方を語る。多様な形態の生活を送る女性たちが、多様な「働き方」をしている。ホームレス、性労働者、専業主婦、ケア労働者…。映画上演に先立ってメンバーでまず映画を鑑賞したが、見る人によって、さまざまな意見が出、感情が動かされるだろうと思われる。そこで、自分が共感するところ、共感できないところを、映画を見終わった後に共有するワークショップを行うことにした。

女性が働くこと、それにまつわるさまざまなことは、私たちひとりひとりに迫ってくる問題だ。ぜひいろんな世代・背景の人に見て、参加してほしい。(鍋谷 美子・原田 雅子)



内容：「レッドマリア それでも女は生きていく」

キョンスン監督作品

映画上映・ワークショップ

日時：3月1日(日) 13:15 開場

14:00 開演(予定) ~ 16:30

場所：神戸市青少年会館5階 視聴覚室

* JR三ノ宮駅東出口より徒歩3分

参加費：1,000円(学生は800円)

定員：20人

共催：働く女性の全国センター (ACW2)



1999年、文学講座は笠原芳光先生のご指導のもと開講した。西洋文学、日本文学を多岐に渡って学んできた。ルノワール、ゴッホ、モネなどの西洋美術も含め、英国、アメリカ、フランス、ドイツ、

グループの活動を紹介します!

文学講座

ロシアなどの作家と作品を丁寧に教わった。若き日に読んだものもあるし、新たに読んだものもある。トルストイの人道主義とドストエフスキーの対比など深く学んだ。日本文学は近代史以降の小説、思想、評論、詩歌などを学んできた。たとえば、太宰治の文学における宗教性について「それは人生における深遠な、また深刻な問題をわかりやすくそして軽快に表現している。まさにチャーホフに匹敵する。」夏目漱石、芥川龍之介から寺山修司、俵万智、村上春樹までを読んだ。

そして2012年からト部兼好「徒然草」を読み続けている。243段までの長い長い道のりを兼好の才智の深さや興味の多さに驚きながら読み継いでいる。13世紀から14世紀にかけて時代の知恵がわたしたちの暮らしに役立つのに驚く。出席者が少なくなり何とか考えていこうと思っている。

(中尾 廣美)



❖ アドベントのアフタヌーン・ティー

90回記念アフタヌーン・ティーを12月2日(火)開催した。

待降節の礼拝は、原野牧師の「壁のむこうを見る」の説教で、ベルリンの壁が崩壊して25年、壁をこえて生きる意味が示された。

続いて原野直美さんのリードでクリスマスキャロルを皆で楽しく合唱。

やないあつ子さんの腹話術では、動物、妖艶なダンサー、少年らが持ち味を生かした声色で登場。爆笑の渦、腹話術の発声術も一同習得し、千円札から一万円に、宝くじに変わる手品に歓声!!

手作りケーキの数々で交流の時を楽しんだ。参加35人。

(湯口 恵)

❖ 神戸YWCA クリスマス

「共に生きる一喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい」のテーマのもと神戸YWCA会館において、12月6日(土)の午後1時30分より催された。礼拝では、日本基督教団神戸東部教会の古澤啓太牧師より「あなたは女の中で祝福された方です」と題してクリスマスのメッセージをいただいた。また「讚美歌を歌おう会」による美しいハーモニーのクリスマス賛美が捧げられた。ティータイムでは会員手作りのケーキを楽しみつつ参加者が挨拶を交わした。祝会では「愛のあるところに神はおられる」と謳うトルストイ作「靴屋のマルチン」の物語を通して、スライドと美しくまた力強いピアノ演奏とともにイエスに出会うことの喜びが語られた。昨年新たに分室で活動を始めた「歌の会」メンバーに

セカンドハウス協力隊募集中!



「散歩をしたい。マスクなしで全身で風を感じたい」「行動範囲を気にせず、こどもに普通の生活をさせたい」。セカンドハウスへの申込理由の一部です。全国Y活動としてセカンドハウスを継続して4年。神戸では48家族159人の方々をお迎えできました。

現在、このセカンドハウスの協力チームを募集中です。西明石にあるセカンドハウスでのお迎え準備のお掃除、鍵の受け渡しなどでご協力くださる方はいませんか。地味だけどもなくてはならない仕事です。お問い合わせは西本まで!

(西本 玲子)

よる「花は咲く」「しあわせ運べるように」など新しい仲間の参加もあり、たくさんの歌を歌い、手話にも挑戦し、ビンゴゲームも楽しんだ。クリスマスの喜びと平和のひと時をともに過ごすことができたことを感謝したい。

(宮田 泰子)

❖ 神戸市民クリスマス

第56回の今年、昨年同様「こころをむすぶクリスマス」と題して、12月19日(金)の夕刻より日本聖公会聖ミカエル教会をメイン会場として開催された。キャロリング、ほっとタイム、子どもプログラム、祈りと祝福の時、青年のつどいなどが持たれ、神戸YWCAは今年もほっとタイムを担当した。教派を超えて守られる祈りと祝福の時はとても新鮮で豊かな喜びの時であった。当日捧げられた献金はパストラルケアセンターHUGハウス、神戸の冬を支える会、ミンダナオ子ども図書館、ハ

ウスオブジョイ等の団体に贈られる。
(宮田 泰子)

2014年度 クリスマス献金送付先

今年も多くの皆様方がクリスマス献金をお捧げくださいました。感謝してご報告いたします。(キリスト教基盤部)

神戸の冬を支える会、W・Sひょうご、神戸いのちの電話、PHD協会、神戸学生青年センター、原爆の図丸木美術館、被災地NGO協働センター、わたしの戦争と平和資料館、入佐明美さんを支える会、日本キリスト教海外医療協力会、釜ヶ崎希望の家、日本キリスト教婦人矯風会、神戸パイブルハウス、日本YWCA東日本大震災被災者支援募金、日本YWCAオリープの木キャンペーン募金、日本YWCA災害時支援募金、日本YWCAピースメーカー募金、神戸YWCA活動のために。(以下はアフタヌーン・ティーより献金)アジア女性自立プロジェクト、NCC宗教研究所、NGOベトナムin KOBE、多言語コミュニティ放送局FMわいわい、ワールドキッズコミュニティ、関西ブラジル人コミュニティ、淀川キリスト教病院ホスピス基金、神戸定住外国人支援センター、釜ヶ崎キリスト教協会、たかとりコミュニティセンター、オリンピック兵庫。以上29団体(敬称略)



写真展」が催された。
昨年夏、東京都写真美術館で「岡村昭彦

東京都主催のこの写真展の作品群は、これまで原板で保存されたため未公開のものだった。私は久しぶりに岡村ワールドに浸りながら40年前のことを思い出していた。私が上筒井の旧会館を初めて訪れたのは岡村さんの「母親のための現代史勉強会」のときだった。大きな衝撃を受けた。

学校で習う暗記物の歴史とは全く違う。今も忘れないのは「ことばは思想を規定する」ということ。あわれみや同情は連帯を拒否したときに生まれる、とも言われた。神戸YWCAではこの勉強会は3年ほどで終わり、その後現代史学習会「いもづる」が発足した。岡村ゼミは岡村さんが85年に亡くなるまで各地で続けられたようだ。こうしてYWCAにご縁ができた

私は、79年から日本語教師となり、学院や企業でいろいろな国の方にお教えることになったが、岡村さんから学んだことがどれほど役に立ったことか。

90年の春には、神戸YWCA創立70周年記念事業として岡村昭彦写真展を会館で開くことができた。気がつけば人生の半分をYWCAとともに過ごしてきたことになる。
(佐伯かをる)

神戸YWCAへのおさそい

(注) 場所の記載のないものはすべて神戸YWCA 会館

●理科実験工作教室 (小学生対象)

2月21日(土)
「シュートぼうとペーパーホイッスルをつくろう」
場所 雲中地域福祉センター
10時～11時30分
参加費 1回200円
(小学生の募集はすでに締め切りました。
大人のサポーターを募集中)

●文学講座

2月17日(火)・3月17日(火)

13時30分～15時30分

『徒然草』
講師 笠原芳光さん(京都精華大学名誉教授)
参加費 1,500円

●3月のアフタヌーン・ティー

「コスタリカってどんな国?」
3月3日(火)
13時30分～16時
講師 中川守さん
参加費 800円

チケットは神戸
YWCAで販売中!

河野康弘 チャリティー ピアノコンサート (水・祝)

～神戸から平和を考える

よく知っているあの曲が
ジャズになったら?

☆親子コンサート 13:30～15:00

↑子どもたちもピアノを弾けるよ!
大人1人に子どもは何人でもOK!
(小学生以下無料、中学生以上は大人と同額)

☆大人コンサート 16:00～17:30

各¥1,500(両方参加で¥2,000)

分室わいわいバザー!

日時 3月21日(土・祝) 12時～15時
場所 神戸YWCA 分室(中央区坂口通5-2-16)

■学院だより

地域福祉コースでは、介護の仕事に携わっている人を対象に、「在宅ホスピスケア講座」を開講。第1回は1月24日、医師の関本雅子さんを迎えて「在宅ホスピスと医療」をテーマにお話を伺った。第2回は2月28日、看護師の松本京子さんを迎え「在宅ホスピスケアの実践と支援の方法」を学ぶ。神戸YWCAではまごの手の立ち上げのときから「在宅ホスピスケア」を目指して研修を続けている。在宅介護の現場で活躍している人のスキルアップとエンパワメントに繋がればと願う。

(学院長 寺内 真子)

■まごの手だより

今年から介護保険制度が大きく見直される。「要支援」の訪問・通所サービスが地域支援事業として、市町村へ移行される。予防給付事業の見直しによる地域支援事業への移行は3年間の移行準備期間を設け、2017年4月から段階的に地域支援事業に移行される。見直しにより、NPO、住民ボランティア、協同組合等による多様なサービスの提供が可能になるとのこと。

介護の質、担い手など問題は山積している。今後、勉強会を行ない地域支援事業の対策が必要である。
(松田 恵美子)

■分室だより

分室では今、新しいプロジェクトが始まっている。「地域がであう場づくり」である。分室の普通のガレージを地域の人々が気軽に立ち寄れる場所にするを目的としている。「どんな場所にしたらよいか」「どのように使うか」を丁寧に話し合いながら進めている。雰囲気作りやインテリアまでプランを立て、作業するのメンバーで行なう。興味のある方は、いつからでも参加ウェルカムである。(大江 雅子)

■運営委員会報告

(11月)【報告】合同祈禱週の報告【議事】バザー中止後のファンドレイジングについて▶2015年度活動目標▶グループ解散と新グループ提案。
(12月)【報告】定期会員集会午後のプログラム【議事】チャリティー・ピースコンサートについて▶2015年度活動目標・計画について。

の計画と予算について▶河野康弘ジャズピアノチャリティー・ピースコンサート プログラムの確認▶運営委員会のあり方について。(書記 寺沢 京子)

■理事会報告

11月29日(土)第3回理事会開催。出席理事6人、監事2人。日本語教育事業の今後の方針について、次年度の日本語教育事業計画について。中長期ビジョンと財政計画について討議。(寺内 真子)

■賛助員

天川 啓子 井上 早苗
笠原 芳光 島本 健二
田邊 誠 永田 健支 永田 俊子
中村 昭子 飛田 雄一
(敬称略)

■編集後記

"茶色の朝"となった日本の行く末には暗澹たる思いです。
(S・T)

世界祈禱日

「世界祈禱日」は毎年3月第1金曜日に、教派を超えて和解と平和を求める祈りの日として世界中で守られています。

日時 3月6日(金) 13:30～(受付開始 12:30)

主題 「私があなたがたにしたことがわかるか」
～バハマからのメッセージ～

会場 日本キリスト教団 神戸栄光教会
(神戸市中央区下山手通4-1-16)

メッセージ 野田和人牧師(神戸栄光教会)

第95回

神戸YWCA 定期会員集会

日時: 3月14日(土) 10時30分～15時

場所: 神戸YWCA 本館5階チャペル

午後は楽しい「わくわくフェスタ」
YWCAの活動を互いに伝え合ひましょう。
会員じゃない人も大歓迎!



ゴーフル®
いいものは時代をこえて
生き続けます

神戸風月堂

本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>



(有) 佐野葬祭
代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

いーく に みくに
0120-592-392 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます
尼崎市潮江4丁目2-2
URL: <http://sanosousai.com>